

グローバルにいがた



国際交流拠点から

from

パリ



川崎 和美さん

＝新潟市北区出身＝

日本文化に高い関心

私は展示会の一環として振り袖の着付けのデモンストレーションに携わっています。

私は展示会の一環として振り袖の着付けのデモンストレーションに携わっています。

私は展示会の一環として振り袖の着付けのデモンストレーションに携わっています。

会場には江戸時代の小袖から、斬新なデザインに施された振り袖に至るまで120点のきものが披露され、長い時を経て、もなお豊かな色彩を放つその美しさは圧巻です。

また、ジャポニスムとの関わりの中でKENZO、コシノジュンコ、イヴサンローランなど、いものから影響を受けた西洋スタイルのオートクチュール作品も展示されています。

渡仏して10年、パリできもの着付けを始めて3年。そんな私から見たパリの様子の一端をお届けします。

パリの国立ギメ東洋美術館で「きもの、女性のしあわせ」と銘打った展示会が22日まで開催されています。週末には入場を待つ行列が50分を優に超え、美術館を取り囲むほどの盛況ぶり。改めて、日本伝統文化に対するフランス人の関心の高さを目の当たりにします。

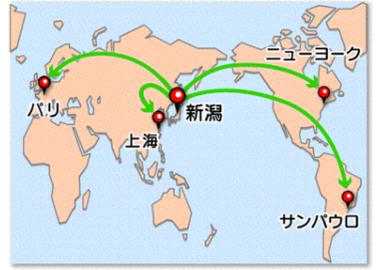
会場には江戸時代の小袖から、斬新なデザインに施された振り袖に至るまで120点のきものが披露され、長い時を経て、もなお豊かな色彩を放つその美しさは圧巻です。

また、ジャポニスムとの関わりの中でKENZO、コシノジュンコ、イヴサンローランなど、いものから影響を受けた西洋スタイルのオートクチュール作品も展示されています。



ギメ東洋美術館で行われたきもの着付けのデモンストレーション

新潟日報社が開設した米ニューヨーク(NY)、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州(パリ)の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をレポートしてもらい、毎月第1月曜日に紹介しています。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。



第1月曜掲載

from

NY



森田 雅子さん

＝南魚沼市出身＝

人種違えど同じ人間

スーパーにずらりと並ぶ牛乳。サイズの大きさはびっくり。



2011年から米国で美容師をしています。

森田さんは1976年生まれ。2011年から米国で美容師をしています。

人は基本的にとても親切でハッピーです。ドアは次の人のために開けて待つ、荷物やベビーカーを運ぶのを手伝う、道を案内してくれる(適当なこともある)……などなど助けてもらったことは数知れず。言葉や文化は違ってもみんな同じ人間を感じることも多いニューヨーク。これから日も長くなり、公園など屋外でのんびり食事するのが気持ちいい季節です。ぜひ遊びにいらしてください。

洗滌物は外に干さず、基本的にコインランドリーか自宅の乾燥機を使います。来米当初、ルームメイトに洗濯物をどこに干すのか聞いたら驚かれました。

日本の食材はアジア系スーパーではほぼそろいます。米国系スーパーでも米、しょうゆ、豆腐を見つけた。ラーメンをはじめ日本食はどれもポピュラーで、みそ汁の作り方を聞かれることもあります。また、オーガニック食品やアレルギー対応食、ベジタリアン食品が手に入りやすく、牛乳一つとっても種類が豊富。たまたまサイスがとことん大きいですが、これもやがて慣れます。

ニューヨークの中心マンハッタンは人種のつぼ。街を歩いているといろいろな言語が飛び交い、ファッション、ヘアスタイルもさまざまです。年齢に関係なく、自分の好きなもの、似合うものを堂々と身に付けているのが印象的。めりめりもはつきりしていて、食事やオペラ鑑賞など特別な時は皆華やかにドレスアップします。

ビル群の中に緑やアートも多く、開放感があり、散歩するだけでも楽しいです。カフェに至る所にもあり、コーヒー片手に歩く人をよく見かけます。スターバックスではコーヒーを頼む際、名前を聞かれます。時々間違われますが、笑顔を返されると気分がいいもので「ま、いいか」と何度目かで慣れました。

ニューヨークの中心マンハッタンは人種のつぼ。街を歩いているといろいろな言語が飛び交い、ファッション、ヘアスタイルもさまざまです。年齢に関係なく、自分の好きなもの、似合うものを堂々と身に付けているのが印象的。めりめりもはつきりしていて、食事やオペラ鑑賞など特別な時は皆華やかにドレスアップします。

ビル群の中に緑やアートも多く、開放感があり、散歩するだけでも楽しいです。カフェに至る所にもあり、コーヒー片手に歩く人をよく見かけます。スターバックスではコーヒーを頼む際、名前を聞かれます。時々間違われますが、笑顔を返されると気分がいいもので「ま、いいか」と何度目かで慣れました。

from

南京



山岸 泰代さん

＝弥彦村出身＝

人々の温かさ知って

この夏、学生の一人が新潟を訪れる予定だ。人とのふれあいでその街が好きになるというのはよくある話だが、彼女にとって新潟がその場所になつてほしいと願っている。

山岸さんは1989年生まれ。南京林業大学外国語学院で日本語を教えています。

私はメテオの情報だけに踊らされず、自らの目で感じたい。そして多くの人もそうであってほしいと思う。

この夏、学生の一人が新潟を訪れる予定だ。人とのふれあいでその街が好きになるというのはよくある話だが、彼女にとって新潟がその場所になつてほしいと願っている。

私は12年前に黒龍江省で生活していたが、当時と大きく変わった点はスマホの普及だろう。人々はあまり現金を持ち歩かず、支払い用の携帯アプリを使う。買い物はもちろん、食事の割り勘や仕送りなど何らかの何までこれを使い、日本よりも携帯社会が進んでいるようだ。ネットで自由にドラマや映画を見られるようになり、店や路上でよく売られていた海賊版DVDはもう見かけない。以前と変わらないうのは路上で将棋やトランプに熱中する人たちの光景、車の多さ、人々の温かさなどだ。

南京市は中国江蘇省の省都であり、交通が便利で大変にぎやかな街である。「中国三大かまど」と称されるほど夏は暑く、4月初旬には32度まで気温が上がった。昨年は6月から7月にかけて例年になく豪雨が続き、皆うんざりしていた。天気予報ではその日の空気が汚染度が発表される。まれにもやがかることもあるが、普段はともきれいな青空で、息苦しいと感じることはなく快適である。

中国の大学生は学生寮で6人1部屋の共同生活をする。キャンパスでは大きな声で英語の朗読練習をする学生をよく見かける。日本の大学生と少し違い、私にはそれが新鮮に感じられる。

南京市は中国江蘇省の省都であり、交通が便利で大変にぎやかな街である。「中国三大かまど」と称されるほど夏は暑く、4月初旬には32度まで気温が上がった。昨年は6月から7月にかけて例年になく豪雨が続き、皆うんざりしていた。天気予報ではその日の空気が汚染度が発表される。まれにもやがかることもあるが、普段はともきれいな青空で、息苦しいと感じることはなく快適である。

中国の大学生は学生寮で6人1部屋の共同生活をする。キャンパスでは大きな声で英語の朗読練習をする学生をよく見かける。日本の大学生と少し違い、私にはそれが新鮮に感じられる。



孔子をまつた「夫子廟(びょう)」。いろいろな店が並び、いつもにぎわっている

from

ブラジル



矢崎 愛さん

＝新潟市北区出身＝

子どもに優しい社会



写真2人の子ども。子育ては苦勞が多いが、喜びはもっと多い。

写真2人の子ども。子育ては苦勞が多いが、喜びはもっと多い。

学年の修了式には親も招かれた。式の最後は子どもたちが舞台上がり全員で大合唱。他の子たちと交じって娘も一生懸命歌っていた。親がほかに見ている間に子どもは一年分の自信を身につけたみたいだ。式の後、娘に「おめでとう！」とハグをした。

(矢崎さんは1977年生まれ。写真2人の子どもの子育ては苦勞が多いが、喜びはもっと多い。)

娘は無事小学1年生を終えた。学校は近所にある私立。意欲的な学校でスタッフもやる気がある。娘もすぐに学校が大好きになった。友達との誕生日パーティーで貸し切りミニ室内遊園地に行ったり、学校でお弁当箱を盗まれてショックを受けたら、ブラジルらしい体験もしながら1年生を終えた。

学年の修了式には親も招かれた。式の最後は子どもたちが舞台上がり全員で大合唱。他の子たちと交じって娘も一生懸命歌っていた。親がほかに見ている間に子どもは一年分の自信を身につけたみたいだ。式の後、娘に「おめでとう！」とハグをした。

歯医者さんのアナは、会うと横にいる大人は目にも入らない様子で、満面の笑みで娘を抱きしめる。ちょっとやわこしい検査を娘が無事やり終えた時には「あなたを誇りに思う！」と言ってくれて、親の私がすっきりうれしくなった。

娘は無事小学1年生を終えた。学校は近所にある私立。意欲的な学校でスタッフもやる気がある。娘もすぐに学校が大好きになった。友達との誕生日パーティーで貸し切りミニ室内遊園地に行ったり、学校でお弁当箱を盗まれてショックを受けたら、ブラジルらしい体験もしながら1年生を終えた。

娘は無事小学1年生を終えた。学校は近所にある私立。意欲的な学校でスタッフもやる気がある。娘もすぐに学校が大好きになった。友達との誕生日パーティーで貸し切りミニ室内遊園地に行ったり、学校でお弁当箱を盗まれてショックを受けたら、ブラジルらしい体験もしながら1年生を終えた。

学年の修了式には親も招かれた。式の最後は子どもたちが舞台上がり全員で大合唱。他の子たちと交じって娘も一生懸命歌っていた。親がほかに見ている間に子どもは一年分の自信を身につけたみたいだ。式の後、娘に「おめでとう！」とハグをした。

娘が無事小学1年生を終えた。学校は近所にある私立。意欲的な学校でスタッフもやる気がある。娘もすぐに学校が大好きになった。友達との誕生日パーティーで貸し切りミニ室内遊園地に行ったり、学校でお弁当箱を盗まれてショックを受けたら、ブラジルらしい体験もしながら1年生を終えた。

学年の修了式には親も招かれた。式の最後は子どもたちが舞台上がり全員で大合唱。他の子たちと交じって娘も一生懸命歌っていた。親がほかに見ている間に子どもは一年分の自信を身につけたみたいだ。式の後、娘に「おめでとう！」とハグをした。